

2023年度 音楽科 カリキュラム・ツリー (履修系統図)

科目群	到達目標	1年次		2年次	
		前期	後期	前期	後期
音楽基礎	音楽への理解と基礎を身に付ける	音楽理論 ソルフェージュ1 音楽史	和声1 ソルフェージュ2 伴奏法 邦楽	和声2 指揮法 合奏 ピアノ指導法	和声3 作曲法
			音楽キャリア1 音楽キャリア2		音楽キャリア3
実技	演奏技術と表現力を身に付ける	専修実技1 副科ピアノ1 声楽1	専修実技2 副科ピアノ2 声楽2	専修実技3 副科ピアノ3 声楽3	専修実技4 副科ピアノ4 声楽4
演習	アンサンブル基礎技術と協働力を身に付ける	ウインドアンサンブル1 合唱1	ウインドアンサンブル2 合唱2	ウインドアンサンブル3 合唱3	ウインドアンサンブル4 合唱4
演奏	実践的な経験を通して、主体性を高める力を身に付ける	学内・学外演奏1 (通年) ステージ実習1		学内・学外演奏2 (通年) ステージ実習2	
文化教養科目群		日本の伝統文化1~3 書道1 文章表現 教養基礎1 実用英語入門1	日本の伝統文化1~3 アカデミックスキル1 情報処理技能演習 教養基礎2 実用英語入門2	アカデミックスキル2 教養基礎3 教養基礎4	
		演奏と地域への関わり			
		演奏会 きゅーはくコンサート、風早コンサート、定期演奏会、公民館コンサート など 学内演奏会 社会人入門夏季・冬季、学生コンサート (講習会・オープンキャンパス・風早祭) など			
教職科目	教師に必要な知識と技能を身に付ける	教職概論 教育心理	教育原論 教育内容論 音楽科教育法 生徒・進路指導法	教育実習 (事前・事後指導1単位を含む) 道徳教育 教育行政 特別活動・総合的な学習時間 教育相談	教育方法論・ICT活用 教職実践演習 (演習) 特別支援教育
資格取得科目 (音楽療法士)	音楽療法士に必要な専門的知識と技能を身に付ける	音楽療法概論 保育学 発達心理学	音楽療法各論(基礎) 音楽科教育法 教育原論・教育内容論	音楽療法各論(臨床) 音楽療法総合演習 生理学	事前事後指導・音楽療法実習 公衆衛生学 社会福祉

専修実技試験・卒業演奏会・研究発表など

- DP1【知識・理解】**  
 ・音楽分野に関する基礎的な知識を身に付けている。  
 ・社会に貢献するために必要な基礎的知識を身に付けている。
- DP2【思考・判断】**  
 社会の一員として主体性を持って考えることができ、自覚を持った行動・判断ができる。
- DP3【興味・意欲・態度】**  
 音楽を通して地域社会に積極的に関わる事ができる。
- DP4【技能・表現】**  
 ・演奏・指導に関する実践力を身に付けている。  
 ・身に付けたスキルを社会において活用することができる。

- 進路**  
 進学  
 ・さらに技術・表現力を高めたい人は、本学専攻科で学ぶ。  
 ・学士を取得したい人は、4年制大学へ進学する。
- 就職**  
 ・教職免許を活かし、中学校音楽講師として就職する。  
 ・音楽教室グレード資格を活かし、音楽教室講師として就職する。  
 ・音楽療法士資格を活かし、社会福祉施設・医療機関に就職する。  
 ・独立したい人は、個人で教室を立ち上げ、先生や演奏家として活躍する。  
 ・そのほか、音楽科で獲得した技能を活かし、一般職、事務系やサービスなどへ就職する。
- リカレント**  
 ・卒業生に対する演奏解釈や指導法などの講座に参加する。

DP：音楽の理論と実技の基本を常に大事にし、生涯にわたり、音楽に対して向上心を持ち続け、社会生活で主体的に行動できる人材の育成を目的とし、学科の学修成果を獲得して所定の単位を修得した学生に学位を授与する。  
 CP：音楽の基本を学ぶことにより、各専門分野の理論と実技がバランスよく修得できるように次の方針でカリキュラムを編成している。